



ちば まさ ふみ
千葉正文
(市民クラブ)

- 6次産業による農業振興を
- 農地中間管理機構の活用を
- 地域の観光資源の活用を

質問 農家の所得向上、農村の活力向上を目的として、6次産業化・地産地消法が平成22年12月に公布されている。奥州市内での事業認定があるか。また今後市はどのようにして農業の6次産業化を推進するのか。

市長 この法律による認定事業は市内で3件あり、そば、なたねの栽培、加工、販売や米粉、米麴の加工販売などがある。今年度からは市独自の事業として、上限10万円の補助事業を実施している。今後も農協、商工会議所、民間企業と連携し、地域の6次産業化を推進する。

質問 担い手への農地集積と耕作放棄地の発生防止・解消の強化策として、農地中間管理機構関連2法案が国会で審議されている。この法律によって本当に農地集積や耕作放棄地の解消につながるのか、また市はどのような役割を持つのか。

市長 耕作の不便な農地は難しいが、平坦地等は中間管理機構が借り受け、整備・管理して担い手等に貸し付けることで農地集積は進むと考える。市は農地利用配分計画を作成し、全ての

農地が活用されるようにする。

質問 奥州市にはたくさんの観光資源がある。これらを活用し観光振興を図るべきと思う。最初に胆沢川について、胆沢ダムが完成して常に一定の水量を確保し生き返った。釣りやカヌー、川遊び等による観光振興を図る考えはないか。

市長 昨年9月に胆沢ダム水源地域ビジョンが策定され、胆沢川を活用し、カヌー、釣り、川遊び等の体験型の観光について胆沢ダム水源地域活性化協議会を組織して推進することになっている。今年度、胆沢河川漁業組合による稚アユ800kgの放流やカヌー協会によるカヌー体験会等が実施されている。



胆沢川でカヌー体験会(H25.8)



たか はし まさ いち
高橋政一
(市民クラブ)

- 市立病院・診療所改革プランのあり方について
- 教育予算配分のあり方はどうなっているか

質問 改革プランは、進め方が拙速であることと医療関係者と市民の意見を聞いていないことが大きな問題点である。県立病院との機能分担等、県と協議、計画策定専門委員会の意見尊重、前沢・衣川診療所の休床化撤回、江刺区内診療所の直営堅持と市内病院への医師派遣要請、9月定例会の請願採択を尊重すべきと考えるが。

市長 11月末に県立胆沢・江刺病院長や県保健福祉部長、医療政策局長に会い説明した。計画策定専門委員会では休床化に対する賛否があった。休床化後も安心して利用できるよう、2つの市立病院と介護の連携も含めてしっかりとやっていく。江刺区内診療所については、派遣先の病院と協議中であり、移動診療車の活用も考えていく。請願は採択されたが、改革プランは行政改革の医療版であり、しっかりと進めるべきと確信している。

質問 教材費、図書購入費、特別支援教育支援員配置費の配分

と推移は。

教育委員長 ここ数年、教材費は1700万円前後、図書購入費は1000万円前後で推移しており、支援員配置費は平成22年度3800万円から平成25年度5000万円となっている。

市長 教育予算は教育委員会と協議し必要な手当てをしている。基準財政需要額に対し、教材費は16～17%、図書購入費は39～40%、支援員配置費は61～70%を予算措置している。

【用語解説】「基準財政需要額」市町村等が一定水準の行政を行うのに必要だと国が交付税として算定した額



衣川診療所・衣川歯科診療所
特別養護老人ホーム羽衣荘を併設